

## イメージCMの制作

### <ねらい>

前回学習したCM研究をもとに、実際に写真を組み合わせたイメージCMを制作し、情報発信の方法について実習する。

### <内 容>

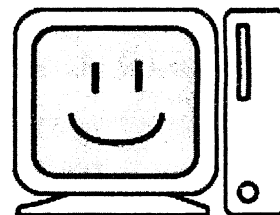
1. 複数の写真と音楽、メッセージを組み合わせた1分程度のイメージCMを制作する。  
参考：明治生命 <http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/event/dear/2003/>
2. テーマは自由だが、何らかのメッセージを発信する内容とし、必ずキャッチコピーを入れる。
3. ソフトは PowerPoint の自動スライドショー機能を使う。

### <手 順>

1. 下書きシートでだいたいの企画をねり、テーマに沿った写真を集める。
2. Windos Media Player で音楽CDから、WMA形式で録音し、フォルダに入れる。(必要な場所を1分程度使用)
3. Power Point でスライドを作る。(別紙参照)

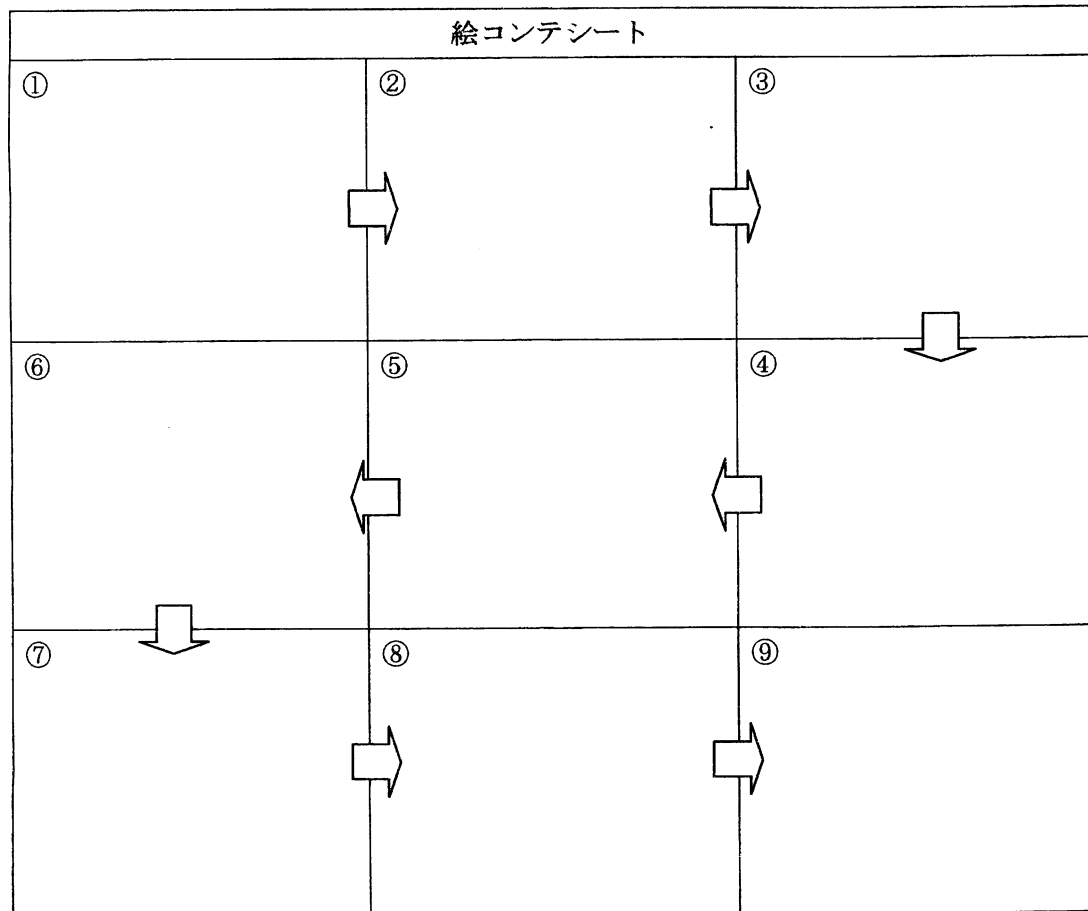
### < 評 価 >

1. 絵コンテシートの記入(内容・提出期日)
2. 作品の評価(相互評価+教員評価)
3. 発表の態度(前回のCM研究の発表と同じ観点で評価)
4. 授業への参加態度(時間を有効に使っているか?)



下書シート

テーマ	
ねらい	
使用する音楽	
キャッチコピー	



高校2年 組 番 (氏名)

## イメージCMの制作（音楽の編集）

### <ねらい>

イメージCMで使用する音楽を、必要な部分だけ録音し、wav形式（音楽保存形式）で保存する。

### <手順>

#### 1. 録音するソフト「Sound Recorder」を準備します。

(1) 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンタテインメント」→「サウンドレコーダー」をクリック。

#### 2. 録音する音源を「Wave（コンピュータからの出力）」に指定します

(1) 「編集」→「オーディオのプロパティ」で、「録音」の「音量」ボタンをクリック。

(2) 「オプション」→「プロパティ」で、「Wave Out Mix」にチェックを入れ、閉じる。

(3) ボリュームコントロールの画面で、「Wave Out Mix」にチェックを入れ、ボリュームの調節を行う。（ふつう2～3めもり程度）

#### 3. 録音の準備・録音をします。

(1) CDトレイに音楽CDを入れます。

→自動的に再生が始まります。停止ボタンを押して止めておきます。

(2) 「Sound Recorder」もたちあげて、準備しておきます。

(3) CDを再生させ録音したい場所が来たら、「Sound Recorder」の録音ボタンを押し、止めたい場所で停止させます。（60秒まで）

(4) 自分のフォルダ（サーバーの中の「K2A〇〇」）に名前を付けて保存します。

\*名前は一般的には半角英数でわかりやすいものを。

### <音が鳴らない・・・>

(1) 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンタテインメント」→「ボリュームコントロール」をクリック

(2) 「ボリュームコントロール」・「WAVE」のボリュームが上がっているか？

「ミュート」にチェックが入っていないか（入っていると音が再生されない）を確認する。



## イメージCMの制作（PowerPointで作品制作）

### <ねらい>

PowerPointを使って、音楽・文字・画像を組み合わせたマルチメディア作品を制作する方法を学び、それらの技術を使ったイメージCMづくりを行う。

### <手 順>

#### 1. データを保存するフォルダを作ります。

- (1) 個人フォルダ（サーバーの中の「K2A〇」）の中に、「A40（組+出席番号）CM（すべて半角でスペースを空けない）」というフォルダを作成する。
- (2) このフォルダに音楽のデータを移しておく。
- (3) このフォルダには音楽とPowerPointのファイル以外は保存しない。

#### 2. PowerPointを立ち上げ、準備をします。

- (1) 「スタート」→「プログラム」→「PowerPoint」で、立ちあげます。
- (2) 「書式」→「スライドのレイアウト」→「白紙のレイアウト」をクリックする。
- (3) 「挿入」→「新しいスライド」で、とりあえず5枚ほど白紙スライドをつくる。
- (4) ここで先ほど作ったフォルダに「CM（半角）」で保存する。

#### 3. 写真・文字をスライドに挿入します。（仮に1枚目に文字・2枚目に画像を挿入）

- (1) 2枚目のスライドを選択します。
- (2) 「挿入」→「図」→「ファイルから」で、画像の保存しているフォルダを指定、そこから挿入したい画像を選択します。
- (3) 1枚目のスライドを選択します。
- (4) 「挿入」→「テキストボックス」→「横書き」で、文字「CM作品（組・番・名前）」を記入します。
- (5) 文字をドラッグして選択、その上で右クリック→「フォント」を選択。
  - ・文字のサイズを調整
  - ・文字の色は白を選択（見えなくなりますが気にせずに）



#### 4. スライドの背景をすべて「黒」にします。

- (1) 1枚目のスライドの上で右クリック→「背景」を選択
- (2) 「▼」をクリックし、黒を選択する。
- (3) 「すべてに適用」ボタンを押し、「×」で閉じる。

#### 5. 5秒ごとにスライドが自動的に変わるようにする。

- (1) 1枚目のスライドの上で右クリック→「画面の切り替え」を選択
- (2) 画面右下の「画面の切り替えのタイミング」の「自動的に切り替え」をチェック、秒数を「00:05」（5秒）に設定する。
- (3) 「すべてのスライドに適用」のボタンをクリックする。
- (4) 画面上の「スライドショー」→「スライドショーの設定」の画面の「スライドの切り替え」で「保存済みのタイミング」にチェックを入れる。（入っていればそのまま）

#### 6. 音楽を挿入する

- (1) 1枚目を選択し、「挿入」→「ビデオとサウンド」→「ファイルからサウンド」を選択、そこで「1. で作ったフォルダ」を選択、音楽ファイルをクリックする。  
「自動的に再生しますか？」には「はい」を選択する。
- (2) すべてのスライドで引き続きこの音楽がなるように設定する。
  - ①画像中央の「スピーカー」を右クリック→「アニメーションの設定」を選択
  - ②画面右の作業ウインドウの「音楽ファイル名」をダブルクリック。
  - ③「再生の中止」の「次のスライドの後」をチェック、数字を5と入力する。  
→「OK」ボタンを押し。
  - ④「スピーカ」をスライドの外に出す（左ボタンを押してドラッグする）。

#### 7. 写真に動きのあるアニメーションを設定する。

- (1) 文字・画像を右クリックし、「アニメーションの設定」を選択する。
- (2) 画面右の作業ウインドウで、「効果の追加」から、さまざまなアニメーションを設定する。
- (3) 「速さ」のウインドウで、効果のスピードを調整できます。

**この操作マニュアルを参考に、いろいろ工夫してみてください！  
（忘れずに、毎回持参しましょう！）**



## イメージCMの制作（発表評価）

### <ねらい>

それぞれが作成したCMを発表し、ねらい・工夫した点についてコメントを加える。  
発表にふさわしい姿勢・言葉づかいを意識し、発表に慣れる。

### < 評価の手順 >

- 手順 1. デスクトップ「生徒用 Server」→「相互評価」→「クラス名」  
で、自分の出席番号のファイルを開く。  
2. 下の発表の観点に沿って評価を行い、S A B C（大文字半角）、  
点数の計算（半角）を行う。コメントも時間の許す限り記入する。  
3. すべての発表が終わったら、上書き保存して終了する。

### < 発表の手順 >

- ① 「CMの発表を始めます」
- ② 作品を見せる。
- ③ コメント（ねらい、工夫した点）を発表する。
- ④ 「これで発表をおわります」

### < 評価基準 >

	S	A	B	C
声の大きさ 目線 言葉づかい	意識するだけでなく、3点においてよく実践できていた	言葉もわかりやすく、目線・言葉づかいを意識していた	どれか足りないが、話したことはわかる	聞き取りにくく、言葉づかいもけじめがない
デザイン	全体の発表の中で、デザインがとくに優れた作品である。	画像・効果がよく工夫されている	画像・効果に使い作品を制作している。	画像・効果にもう一工夫あれば、よかった。
内容	全体の発表の中で、内容がとくに優れた作品であった。	見るだけで何を伝えたいかわかる工夫された作品だ	作り手の意図が伝わる作品であった。	作り手の意図が作品を通じて伝わりにくかった。

※ 標準がB、いいものがAで、SはAでもとくにすばらしいもの

発表準備シート

テーマ	
ねらい (伝えたい内容)	
工夫した点	
使用した音楽	
時間(秒)	

自己評価シート

	A	B	C	自己評価
時間配分	時間を有効に使い、工夫を重ねた作品を作れた	決められた時間内で作品を完成させた	時間を無駄に使うことも多かった。	
制作態度	積極的に工夫し作品を完成させた	指示通りの作品を作ることができた。	なかなか手が動かず、作品制作に手間取った。	
発表態度	目線・言葉づかいなど、意識して発表を行えた。	発表準備シートどおりに発表を行えた。	準備不足であった。	
コメント				

高校2年 組 (名前)